

社会資本整備総合交付金 事後評価シート
細地区

平成29年3月

大分県大分市

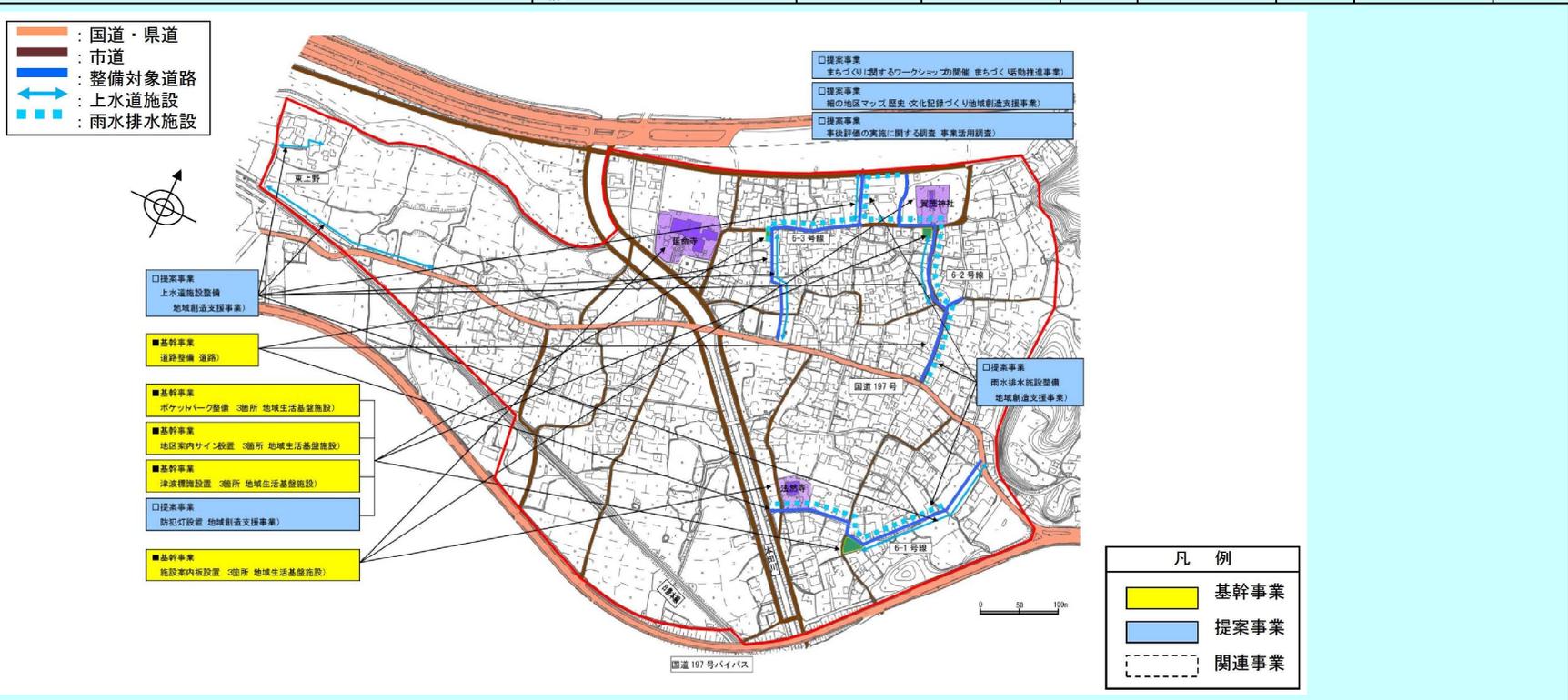
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大分県	市町村名	大分市	地区名	細地区		面積	39ha				
交付期間	平成24年度～平成28年度	事後評価実施時期	平成28年度	交付対象事業費	726.0	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業		道路(6-1号線、6-2号線、6-3号線)、地域生活基盤施設(ポケットパーク1号、ポケットパーク2号、ポケットパーク3号、地区案内サイン設置3箇所、施設案内板設置3箇所、津波標識設置3箇所)									
	提案事業		地域創造支援事業(防犯灯設置3箇所、細の地区マップ、歴史・文化記録づくり、雨水排水施設整備、上水道施設整備)、事業活用調査(事後評価の実施に関する調査)、まちづくり活動推進事業(まちづくりに関するワークショップの開催)									
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし								
	新たに追加した事業		提案事業	なし								
交付期間の変更		当初変更	平成24年度～平成28年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	市街地内における防災性・利便性の向上	%	16%(103棟)	H23	25%(159棟)	H28	21%(135棟)	△	あり	● 目標25%(159棟)に対して、平成28年度の接道状況は21%(135棟)となっており、達成の見込みは低い。これは、用地買収の難航(相続・境界紛争等)による事業着手の遅れが影響している。しかしながら、事業の進捗に伴って接道状況が改善されていることから、目標値に達成するために必要な事業費を確保し、用地買収の難航等を考慮した事業計画を立て確実に実行することにより、事業完了時における数値の上昇が期待できる。	平成29年12月1日
	指標2	コミュニティスペースに関する地域ボランティア活動の開催数の増加	回/年	25回/年	H23	50回/年	H28	45回/年	△	あり	● 目標の50回/年に対して、平成28年度の開催数は45回/年であり目標をわずかに下回っている。まちづくりの機運が高まったことにより、開催数が増加していると考えられる。今後の展開として、計画されているポケットパークの完成に加えて、住民との合意形成活動において住民相互のコミュニティ意識が拡大することで、ボランティア活動の開催数の増加が予想される。	平成29年12月1日
	指標3	地区の歴史・地域資源について知らない方の割合の減少	%	ほとんど知らない方の割合62%	H23	52%	H28	55%	△	あり	● 目標の52%に対して、平成28年度は55%であり目標にわずかに達していない。まちづくりに関するワークショップを通して、歴史・文化記録づくりに関する勉強会を実施したことにより、参加者の歴史・地域資源に対する認知度が向上していることから、今後、記録づくりとして作成した冊子等を地区住民に配布等、さらに認知度が向上し、目標を達成することが予想される。	平成29年12月1日
			なし							なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1											
その他の数値指標2												
4) 定性的な効果発現状況	地区住民との合意形成活動を通して、若者にも高齢者にも魅力的なまちづくりを目指し、コミュニティの醸成を図った。また、まちづくりの方向性について共有し、意見や意向をくみ取り計画に反映した。											
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング			-								
	住民参加プロセス			交付期間中に地域住民の憩いの場となるポケットパークに関する施設設備や、まちの古い佇まいを残す地区の歴史・文化を継承するための記録づくりのために計10回にわたり「まちづくりに関するワークショップの開催」を実施。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				
	持続的なまちづくり体制の構築			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 大規模災害に備えるための地域コミュニティの醸成や運動・レクリエーション活動を住民相互で楽しむ活動、地域の歴史・文化を後世に残し地域交流を図るための合意形式活動を展開する。				

様式2-2 地区の概要

細地区(大分県大分市) 社会資本整備総合交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標: 若者にも高齢者にも魅力的で安全・安心で生き生きとした細のまちづくり	市街地内における防災性・利便性の向上	単位: %	16%(103棟)	H23	25%(159棟)	H28	21%(135棟)	H28
目標1 便利・安全・安心のまちづくり	コミュニティベースに関する地域ボランティア活動の開催数の増加	単位: 回/年	25回/年	H23	50回/年	H28	45回/年	H28
目標2 いきいき・にぎわいのまちづくり	地区の歴史・地域資源について知らない方の割合の減少	単位: %	ほとんど知らない方の割合 62%	H23	52%	H28	55%	H28
目標3 ふるさとの資源を活かすまちづくり								



まちの課題の変化

本計画では、事業が完了に至っていないため、道路網など生活環境の整備を引き続き行う必要がある。また、コミュニティスペースの整備や、生垣や祭りなどの地区の固有の資源の活用、健康促進のための運動スペースを兼ね備えた一時避難地の確保等によるまちづくりの推進により、若年世帯の流出や高齢化が進む本地区において、日常生活の活性化を図ることが強く求められている。

このような中、課題としては以下が挙げられる。

- 防災を考慮した道路網の整備(地区内において、既存の道路を活用した消防活動や避難行動の円滑化を促す道路整備)
- 排水不良区の解消(排水不良区を主体とする雨水の排水対策)
- 地区コミュニティ活動の継続(生きがい醸成につながる、各種コミュニティ活動の継続や新たな活動おこし)
- 公園・広場等の整備(地区内における一定規模の公園等の設備)
- 地域資源の活用(地区の歴史性を象徴する神社・寺院など、地区の歴史の伝承とその活用)

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	●細地区都市再生整備計画により得られた今後の課題 ・ハード整備の継続と更なる進展 ・コミュニティ醸成の促進 ・健康促進と一時避難地の確保 ・地域資源の共有と更なる活用	●求められるまちづくりの方向性 市街地内における防災性・利便性の向上 ・少子高齢化対策 ・防犯対策 ・交通安全対策 まちづくり活動の実践による地域コミュニティの強化 ・歴史・風土・景観 ・防犯対策 ・地域コミュニティの醸成 ・少子高齢化対策 ・交通安全対策	●まちづくりの方策
	・防災道路の整備 ・歴史施設案内板設置 ・ポケットパーク整備 ・避難経路案内板設置 ・防犯灯設置	・多目的公園の整備 ・雨水排水設備整備 ・ワークショップ開催 ・歴史・文化記録づくり	